



エンジニア選手権 The Championship of Robotics Engineers スポンサーシップ・機器展示案内



CoRE
The Championship of
Robotics Engineers



チームで大型ロボットを作る過程で 総合的にエンジニアリングを学び続ける 次世代のエンジニア“挑戦的共創人材”を育成する場

年齢・経験関係無しにあらゆる人々がエンジニアリングを学ぶ場を提供します



CoRE
The Championship of
Robotics Engineers





エンジニア選手権（CoRE）は、ロボット競技会を通じて次世代のエンジニア“挑戦的共創人材”を育成するための場所です。挑戦的共創人材とは下図の7つの価値観を体現するような、昨今の**飛躍的に進歩する技術を常に学び続け、周囲と力を合わせながら困難に挑み、技術でより良い未来を共創できる人材**として、主催者の次世代ロボットエンジニア支援機構が議論を重ねて定義しました。

挑戦的共創人材を育成するための場所として、エンジニア選手権では従来のロボット競技にはない様々な工夫を凝らしています。勝敗だけに拘る単なる競争にならずチーム間の協調が重要となる競技内容、当日のロボット競技の結果だけではなく、チーム活動や提出資料等の総合力を加味した総合優勝制度や個人表彰制度を設けました。これらにより、**様々な観点でエンジニアやチームとしての能力を測り**、これまでスポットライトが当たることが少なかったエンジニア自身を評価して優れたエンジニアとチームを育成することで、挑戦的共創人材の輩出を目指します。

継続で壁を打ち破る

情熱の下に、粘り強く問題に挑もう

未知に挑み続ける

新しい技術やアイデアを常に探求し
失敗を恐れず大胆に行動しよう

あらゆる挑戦を楽しむ

困難な状況で常に全力で楽しみ、
仲間とその楽しみを分かち合おう

協力してより高みへ

違いを認め合い、互いを尊重し、
協力することで高みを目指そう



学びで世界を変える

学び続けることで強みを伸ばし
視座を高めてより良い世界を共創しよう

未来へつなげる

チームやエンジニアコミュニティの
継続的発展のために行動しよう

人・技術へ誠実に

誠実で信頼される人となり、
公正かつ真摯に技術と向き合おう



ロボット関連技術だけでなく、ハードウェアとソフトウェアを総合的に学べ、チームワークを磨く場です

エンジニア選手権の参加者は、ロボット製作を通じて総合的にエンジニアリングを広く学び、チームで一つの物を開発する過程でチームワークを実践的に磨いています。これらのスキルはロボット関連企業のみでなくエンジニアリングに関係するあらゆる企業で必須となるものであり、即戦力となる人材です。

ハードウェアスキル：ロボット製作過程でメカ系の担当者は機械設計製作、加工組立調整など、回路系の担当者は主にマイコン等を用いた組込回路系、モータ駆動回路等のパワーエレクトロニクス系までの設計製作経験を、各種CAE等のツール利用含めた多様なスキルと経験を獲得しています。

ソフトウェアスキル：本選手権に出場するロボットは主にC/C++、Python等のプログラミング言語を使用して制御されています。今後登場する自動ロボットにおいては、画像処理や制御器の設計実装スキルが要求され、参加者は実世界でロボット実機を制御するために必要なスキルと経験を獲得できます。

プロジェクトマネジメントスキル：参加者は限られたリソースを活用して最大限の成果を上げるように活動しています。本選手権ではプロジェクトマネージャーの設置もチームに求めており、スケジュールやタスク管理等のスキルを体験しながら習得できます。

チームワークスキル：本選手権は7名以上のチームで参加する必要があり、ロボット作りに挑む実戦経験の中で、技術コミュニケーションやチーム運営、後輩育成等の多様なスキルを必然的に学ぶことができます。

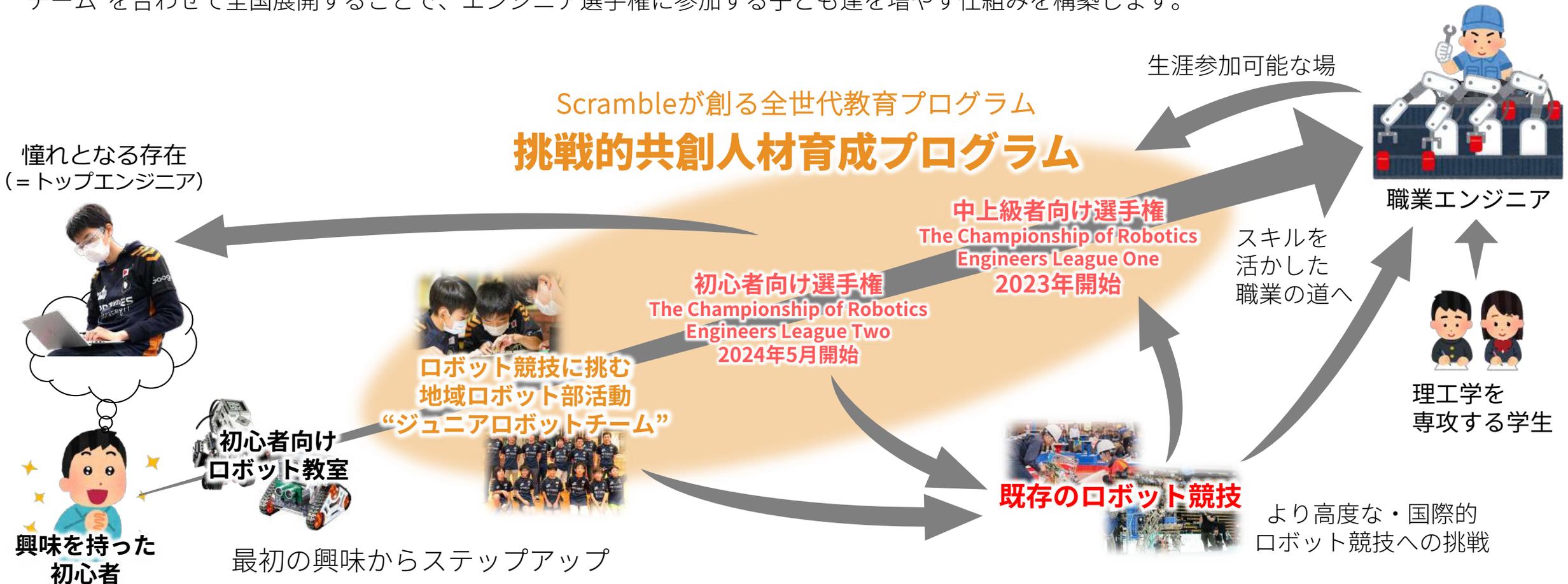
ロボット競技	実際の仕事
大会レギュレーション分析	市場ニーズ分析
目標実現手段のアイデア検討	要件定義
構想設計	構想設計
詳細設計	詳細設計
見積もり、加工、組立	見積もり、加工、組立
練習試合、改良	試運転、評価、改良
大会出場	納品、サービスイン





主催する次世代ロボットエンジニア支援機構の狙いは、エンジニア選手権を軸に子ども・大人に限らず初学者も参加しやすく、また現役エンジニアも生涯参加することができ、エンジニアリングを学び続け、“挑戦的共創人材”を輩出する全世代教育プログラムを創出することです。2023年に開始したエンジニア選手権よりも参加ハードルを下げた初心者向け選手権も2024年から開始することで、初学者の参加を促します。

また、次世代ロボットエンジニア支援機構が別事業として進める、小中学生がロボット競技出場に挑む地域ロボット部活動“ジュニアロボットチーム”を合わせて全国展開することで、エンジニア選手権に参加する子ども達を増やす仕組みを構築します。





Vision

誰もがエンジニアの素養を持ち、より良い社会を共創する

エンジニアの裾野が広がり優秀なエンジニアが多数輩出されるとともに、あらゆる人々がエンジニアの素養を持ち科学技術の発展へ共に貢献できる社会を創ることで、社会一体となって科学技術でより良い社会を共創する未来を作る。

Mission

これからの日本を牽引する エンジニアのたまごを地域から育成する

ロボット競技を活用し次世代の日本のものづくり界隈を牽引するエンジニアの育成を試みています。社会一体となってエンジニア教育を実施する基盤を地域社会で創出、子ども達の学びの場とするのみでなく、現役エンジニアや様々な企業、団体、個人が集うコミュニティを創りだすことが本機構の目的です。

ロボット競技会を人材育成・発掘の場 として最大限に活用する

ロボット競技はロボット作りをはじめ、チームでのものづくりの基礎を実践的に学ぶために非常に良いツールです。国内ではロボット競技会は趣味の一つとして考えられがちですが、海外ではロボット競技会はいまや企業の青田買いの場としても活用されています。本機構はロボット競技を通じて学生や子ども達と企業様の繋がりを作り、新たな就職活動の枠組みを作ります。

一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構

〒619-0294 京都府相楽郡精華町精華台7-5-1

けいはんなオープンイノベーションセンター201号室

TEL：090-7495-3763（代表直通）

E-mail：info@scramble-robot.org



役員	代表理事	川節 拓実	大阪大学助教
	理事	小林 憲人	株式会社ティアフォー
	理事	高橋 智也	トヨタ自動車株式会社
	理事	高瀬 雄心	株式会社テクノプロ
	監事	小林 雄一郎	兵庫県立大学大学院学校教育研究科学生
	監事	鮫島 功路	株式会社ダイフク
	顧問	浅田 稔	大阪大学名誉教授

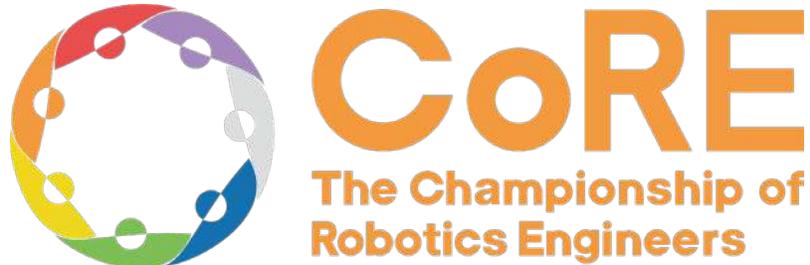
2023-24シーズン 選手権のご案内

2024年3月23日～25日

The Championship of Robotics Engineers League One 2024

2024年5月

The Championship of Robotics Engineers League Two 2024





名称：The Championship of Robotics Engineers League One 2024 (CoRE-1: 2024)

開催日程：2024年3月23日(土)～3月24日(日) - 競技日

2024年3月25日(月) - 交流会（実施未定）

開催場所：けいはんなオープンイノベーションセンター
（京都府相楽郡精華町精華台7-5-1）

主催：(一社)次世代ロボットエンジニア支援機構、京都府

後援：精華町、(一社)日本ロボット学会（予定）

参加予定：24チーム300名（高専生、大学生、現役エンジニアなど）

概要：第1回大会のCoRE2023では天下統一ロボットバトルを競技テーマに、全国から集った14チームが熱戦を繰り広げました。CoRE2024では前回のルールをベースとしながらも、より白熱し、技術開発が進むようにルールを見直し、アップデートしています。具体的には、フィールドサイズが昨年度比で1.5倍程度広くなり、最大で5 vs 5の同盟戦を行います。また、その内1台は実行委員が共通ハードウェアとして作成する自動ロボットの画像処理や制御などのソフトウェア開発に挑みます。参加チーム数も昨年より大幅増を狙い、合計24チームを募集します。昨年よりさらにパワーアップしたロボットバトルを制してエンジニアの頂点を目指してください！





選手権は、けいはんな学研都市にあるけいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）にて実施します。

KICKは展示会、イベント等の会場であるとともに、ロボット開発を推進するロボット技術センターが設置されています。競技はこのロボット技術センターで実施予定です。

けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）

〒619-0294 京都府相楽郡精華町精華台7-5-1



電車でのアクセス

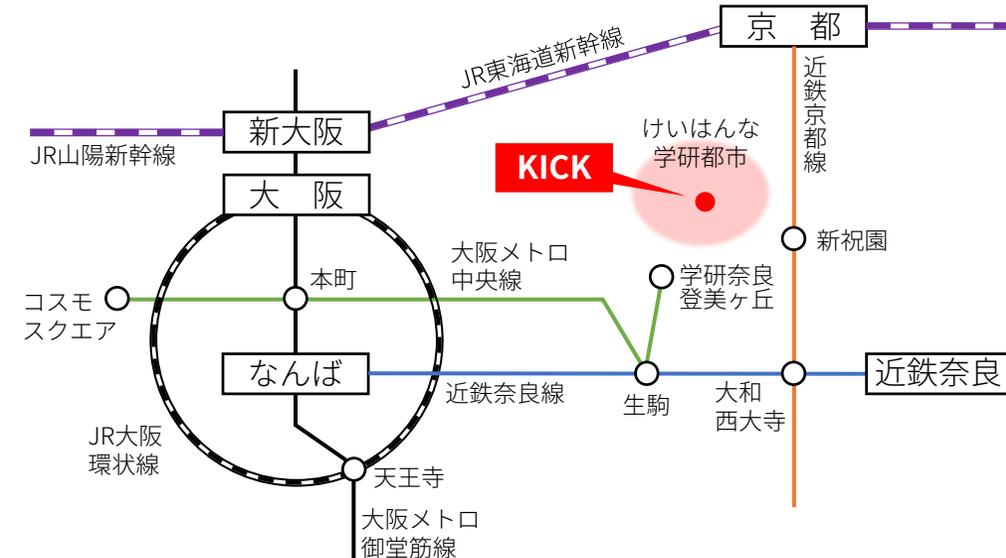
京都
から

京都駅→近鉄京都線新祝園駅
→奈良交通バス公園東通り下車（約50分）

大阪
から

大阪駅→大阪メトロ御堂筋線本町駅
→大阪メトロ中央線・近鉄けいはんな線学研奈良登美ヶ丘駅
→奈良交通バス公園東通り下車（約60分）

難波駅→近鉄奈良線生駒駅→近鉄けいはんな線学研奈良登美ヶ丘駅
→奈良交通バス公園東通り下車（約60分）





名称：The Championship of Robotics Engineers League Two 2024 (CoRE-2: 2024)

開催日程：2024年5月ゴールデンウィークの連続する2日間

開催場所：イオンモールKYOTO（調整中）
（京都府京都市南区西九条鳥居口町1）

主催：(一社)次世代ロボットエンジニア支援機構、京都府

後援：(一社)日本ロボット学会（予定）

参加予定：10チーム70名



概要：第1回大会のCoRE2023では天下統一ロボットバトルを競技テーマに、全国から集った14チームが熱戦を繰り広げました。CoRE2024では初心者の参加ハードルを下げるため、初心者向けの選手権、CoRE2部リーグ（通称、CoRE-2）を開催します。CoRE-2: 2024ではCoRE2023のルールをベースにしており、高いゲーム性で見所あるロボット競技を引き続き提供します。本機構が主催する小中学生向けの地域ロボット部活動、ジュニアロボットチームの参加者もこのCoRE-2参加を目指してロボット製作を進めています。初心者であれば10歳以上、年齢制限無しで参加することができ、大型のロボット作りやものづくりが初めての人々に熱中できる場所と機会を提供します。



CoRE-2は、京都市にあるイオンモールKYOTOにて実施予定です。
(会場調整中)

JR京都駅から徒歩5分の利便性が高い立地であり、
4Fのレストラン街の横にあるイベントスペース「Kotoホール」
で実施予定です。

イオンモールKYOTO

〒601-8417

京都府京都市南区西九条鳥居口町1



電車でのアクセス



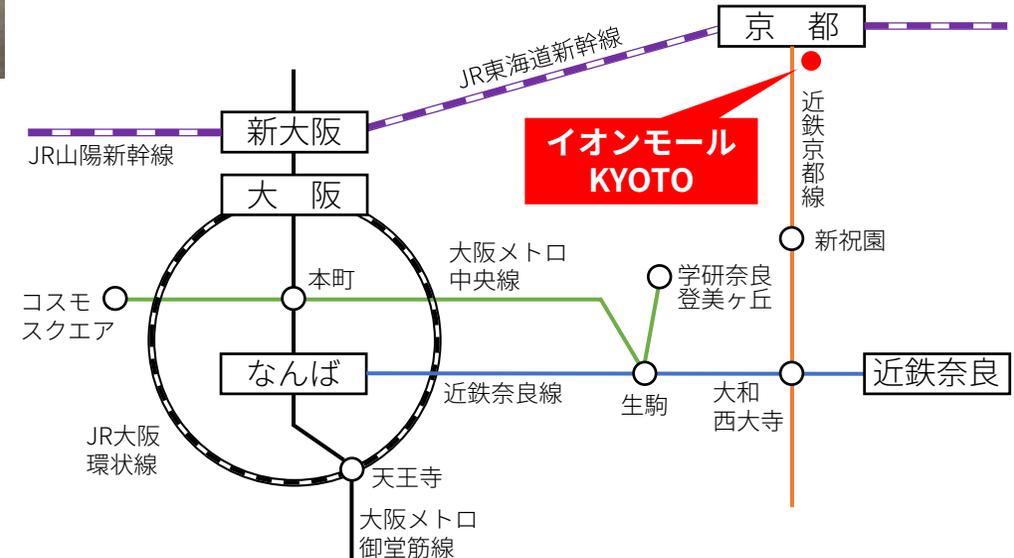
京都
から

京都駅→徒歩5分



大阪
から

大阪駅→京都駅→徒歩 (約35分)



スポンサーシップ・機器展示のご案内





①学生・現役エンジニア界隈へ貴社の効果的なPRが図れます

本機構が主催するエンジニア選手権CoREは、優れた技術力を持ち革新的なアイデアで周囲と共創しながら様々な困難を打破し未来を切り拓ける次世代のエンジニア“挑戦的共創人材”を育成する場です。本機構へスポンサーしていただくことで**学生や現役エンジニアといった挑戦的共創人材のたまごに貴社やその製品、サービスを広くアピール**いただく機会となります。また、本選手権を企画運営する（一社）次世代ロボットエンジニア支援機構で科学技術の未来を考え行動している構成員の大多数がエンジニアリングを学ぶ学生、もしくは若手エンジニアであり、外部のみならず機構内の優秀な若手に対する貴社アピールにもつながります。





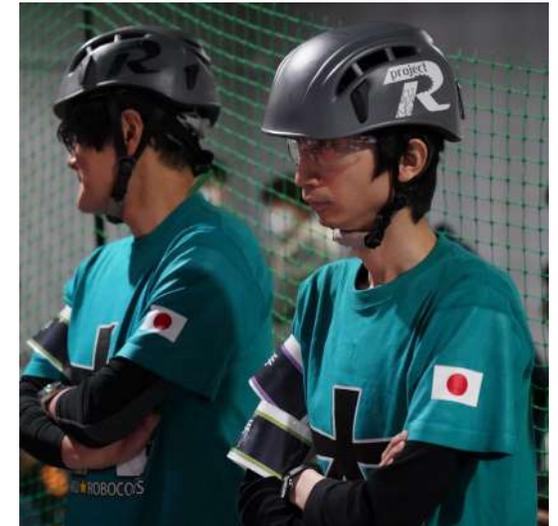
②優秀なエンジニアである学生・社会人とのつながりを作れます

エンジニア選手権では、学生から現役のエンジニアとして働く幅広い世代の優秀なエンジニア、そのたまごが参加しています。これらの参加者には、技術に触れて学ぶことが楽しく好きで仕方ないような、**自発的かつ意欲的に技術を磨き続けられる人材**が多数います。また、エンジニア選手権では選手自らがルールのあるべき姿を考え、ルールを作り変えることができるルールメイキング制度を導入しており、周囲と協調・対話しながら自己利益も追求できる人材育成を進めています。このような人材と関係性を作れるのは貴重な機会であり、従来の就職・転職活動では発掘できない、マッチングしない人材に出会えることもあるため、**新たな採用のチャンス**につなげて頂くことができます。



③次世代を担うエンジニアを育成する企業として社会貢献頂けます

科学技術が飛躍的に進歩し、技術を正しく理解し活用することが強く求められる現代において、あらゆる人々がエンジニア的素養や価値観を身につけ、その中から優秀なエンジニアを育成していくことは必須になります。本選手権への協賛を通じて、学生から社会人まで全世代向けの高度なエンジニアリング教育基盤を普及させる事業へ貢献いただけます。社内教育のみならず、社会的に**未来を創るエンジニア**、**またそのたまごの育成に貢献していることをエンジニア界隈にアピール**いただけ、**SDGs目標達成にも資するCSR（企業の社会的責任）活動に注力**されていることを参加者のみならず、オンラインで視聴する幅広い層にアピールいただけます。





ランク 金額	ゴールド 300万円	シルバー 200万円	ブロンズ 100万円	広告掲載 50万円	賞品提供 賞品
選手権サイト、パンフレットのバナー	大ロゴ	中ロゴ	小ロゴ	文字のみ	文字のみ
選手権パンフレットへの広告掲載	1ページ	1ページ	1/2ページ	1/4ページ	—
展示ブース	2コマ	2コマ	1コマ	—	—
選手権VIP座席へのご案内	20名様まで	20名様まで	20名様まで	—	—
選べるPRプラン	5ポイント分	3ポイント分	1ポイント分	—	—
交流会への参加	可能	可能	—	—	—

機器展示・スポンサー費は消費税の課税対象外で、別途消費税を申し受けることはございません。この表の内容等については変更になる可能性もございますので予めご了承下さい。
ご不明な点がございましたらお気軽にお申し付けください。



■ 選手権サイト、パンフレットへの貴社名ロゴ掲載

選手権公式サイト、選手権公式デジタルパンフレットにて貴社名、ロゴをランクに応じて掲載致します。



ゴールド
大

シルバー
中

ブロンズ
小

広告
文字のみ

賞品
文字のみ

■ 選手権パンフレットへの広告掲載

選手権時に現地会場にて配布するパンフレット（冊子）とオンライン視聴者に配布するデジタルパンフレット（電子データ）に広告を掲載いたします。原稿内容のご要望に応じます。



ゴールド
1ページ

シルバー
1ページ

ブロンズ
1/2ページ

広告
1/4ページ

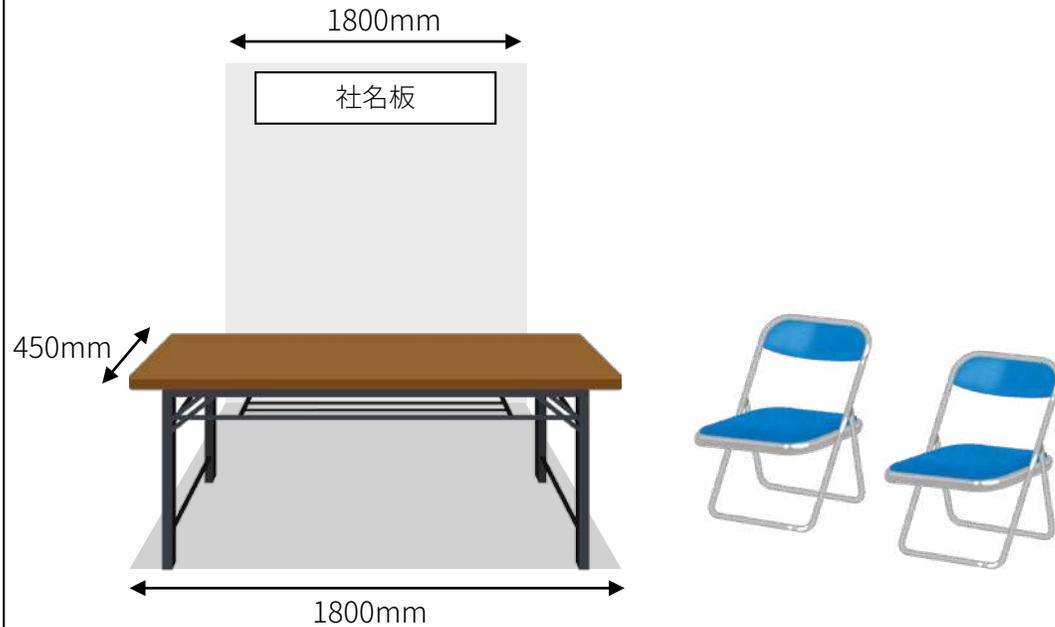
賞品
なし

※本ページの画像はイメージであり、写真は過去の実施例です。



■ 展示ブース

下記サイズの机1台、イス2脚、社名板が展示ブースの1コマとなります。ブース出展は1部リーグのみが対象です。



ゴールド
2コマ

シルバー
2コマ

ブロンズ
1コマ

広告
なし

賞品
なし

■ 選手権VIP座席へのご招待

選手権時に現地会場でご用意するVIP座席へランクに応じてご招待致します。2024年大会は会場都合により、VIP座席数が限られる予定です。会場にお越し頂く際の旅費等はご負担をお願いします。VIP座席は1部リーグのみ設置予定です。



ゴールド
20名様まで

シルバー
20名様まで

ブロンズ
20名様まで

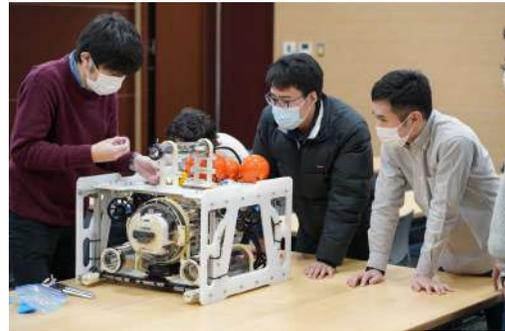
広告
なし

賞品
なし



■交流会への参加

競技終了後翌日の月曜日に開催予定の選手交流会にご参加頂けます。交流会では話題毎にいくつかの部屋に分かれて選手が情報交換をすることで、親睦を深めつつ学ぶ場です。貴社エンジニアや採用担当者にご参加頂き、例えば選手が貴社エンジニアに技術相談をする場を作る、また貴社紹介の場を作るなど、交流会の場を選手との交流にご活用頂けます。



※協賛状況によっては開催しない場合がございます

※選手の交流会への参加は任意としております

ゴールド
可能

シルバー
可能

ブロンズ
なし

広告
なし

賞品
なし



■ 選べるPRプラン ランクに応じて下記のA種、B種よりプランをご選択頂けます。各プラン詳細は次ページ以降をご覧ください。

A種
1プラン
2ポイント

貴社名を冠する特別賞の授与



5社先着

懇親会でのショートプレゼンテーション



3社先着

ストリーミング配信での貴社PR映像放映



5社先着

会場にロゴパネル（大）設置



6社先着

バックパネルへロゴ（大）掲載



4社先着

B種
1プラン
1ポイント

ストラップへの貴社ロゴ掲載



2社先着

腕章への貴社ロゴ掲載



2社先着

参加者への貴社ノベルティ配布



上限数無し

懇親会でのスピーチ



5社先着

会場にロゴパネル（小）設置



8社先着

バックパネルへロゴ（小）掲載



8社先着

ゴールド
5ポイント分

シルバー
3ポイント分

ブロンズ
1ポイント分

広告
なし

賞品
なし



■ 貴社名を関した賞の授与

選手権において、貴社名を関した賞を授与いたします。賞は個人対象も、チーム対象もどちらも可能です。受賞者・受賞チームを選んで頂くことも、一任頂くことも可能です。



Aランク
5社様先着

■ 懇親会でのショートプレゼンテーション

選手権終了後に開催する、選手全員が参加する懇親会において、5分間のプレゼンテーションをしていただけます。なお、懇親会は1部リーグのみ実施予定です。



Aランク
3社様先着
1部リーグのみ

■ ストリーミング配信での貴社PR映像放映

選手権のストリーミング配信時、配信待機時、休憩時に貴社PR映像を放映いたします。2分以内のPR映像をご用意いただき、繰り返し放映いたします。



Aランク
5社様先着

■ 会場にロゴパネル（大）設置

選手権のフィールドそばに、貴社ロゴを掲載したロゴパネル（大）を設置いたします。なお、ロゴパネル設置は1部リーグのみ実施予定です。



Aランク
6社様先着
1部リーグのみ



■ バックパネルへ貴社ロゴ（大）掲載

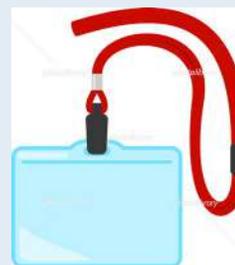
選手権において、選手インタビューなどの背景として利用するバックパネルに貴社ロゴを大サイズにて掲載いたします。



Aランク
4社様先着

■ ストラップへの貴社ロゴ掲載

選手権にて選手・スタッフが着用するネックストラップの紐部分に貴社ロゴを掲載いたします。なお、ストラップは選手へ進呈予定です。



Bランク
2社様先着

■ 腕章への貴社ロゴ掲載

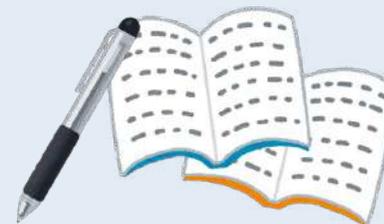
選手権においてキャプテンや操縦手など役職付きの選手が着用する腕章に、貴社ロゴを掲載いたします。



Bランク
2社様先着

■ 参加者へのノベルティ配布

選手権の参加者に貴社ノベルティを配布いたします。参加者受付時に、基本的に全員へ配布いたします。



Bランク
上限数無し



■懇親会でのスピーチ

選手権終了後に開催する、選手全員が参加する懇親会において、2分間のスピーチをしていただけます。なお、懇親会は1部リーグのみ実施予定です。



Bランク
5社様先着

■会場にロゴパネル（小）設置

選手権のフィールドそばに、貴社ロゴを掲載したロゴパネル（小）を設置いたします。なお、ロゴパネル設置は1部リーグのみ実施予定です。



Bランク
8社様先着

■バックパネルへ貴社ロゴ（小）掲載

選手権において、選手インタビューなどの背景として利用するバックパネルに貴社ロゴを小サイズにて掲載いたします。



Bランク
8社様先着



一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構

スポンサーシップ・機器展示担当：川節、宮原

〒619-0294 京都府相楽郡精華町精華台7-5-1けいはんなオープンイノベーションセンター201号室

TEL：090-7495-3763（代表直通）

E-mail：info@scramble-robot.org

【振込先情報】

銀行名：京都銀行（0158）

支店名：精華町支店（305）

口座種別・番号：普通 4041125

口座名義：一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構 代表理事 川節拓実



- スポンサーは年間スポンサーとして、毎年11月1日から翌年10月31日までとなります。いつでもお申し込みいただけますが、年度途中でのお申し込みに関しては、その年度の10月31日までが有効期限となりますのでご注意ください。
- お申し込みは主催元の（一社）次世代ロボットエンジニア支援機構までお願いいたします。

一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構 担当：川節、宮原

〒619-0294 京都府相楽郡精華町精華台7-5-1 けいはんなオープンイノベーションセンター209号

E-mail: info@scramble-robot.org TEL: 090-7495-3763（川節直通）

留意事項

- 感染症の流行や天災その他の不可抗力により実施が困難となった場合、主催者は開催前または開催中に、開催中止または開催時間の短縮を行う場合があります。その場合、参加者およびスポンサー・機器展示側に損害が生じる場合であっても、主催者は一切その責任を負いません。
- 各選手権の開催が天災その他の不可抗力により実施が困難となった場合、それ以前にお支払い頂いたスポンサーシップ・機器展示費につきましては年間費用のため返金いたしません。
- 何らかの事情により、スポンサー・機器展示側のご判断にて出展を中止された場合も、スポンサーシップ・機器展示費の返金を行いません。

競技のご紹介





競技テーマ：天下統一ロボットバトル

敵ロボットに設置された鎧を目掛けてフライングディスクを射出し鎧に命中するとHPが減少。敵の撃破を目指す！

決勝トーナメントでは陣取り要素も追加、敵同盟の撃破か敵本陣突破を目指せ！

見どころ1：同盟バトル

複数チームで同盟を結成し同盟同士で対決！敗れた同盟は勝利した同盟の配下となり次の試合も出場！



見どころ2：戦略が勝利の鍵

同盟内からどのロボットを出場させるか、敵同盟と本陣のどちらを撃破するかは各同盟の戦略次第！



見どころ3：一人称視点操縦

まるでFPSゲーム!?全てのロボットは1人称視点で操縦！操縦者間の連携が限られた世界を補う！



大会形式：総大将決定戦と決勝トーナメントの複合形式

総大将決定戦（予選）

- グループ毎にバトルロイヤル（4チーム同時対戦）を実施し総大将を決め、1つの同盟を作る

決勝トーナメント

- 予選で作った4つの同盟によるトーナメント戦

グループ①

Aチーム

Bチーム

Cチーム

Dチーム

グループ②

Eチーム

Fチーム

Gチーム

Hチーム

グループ③

Iチーム

Jチーム

Kチーム

Lチーム

グループ④

Mチーム

Nチーム

Oチーム

Pチーム

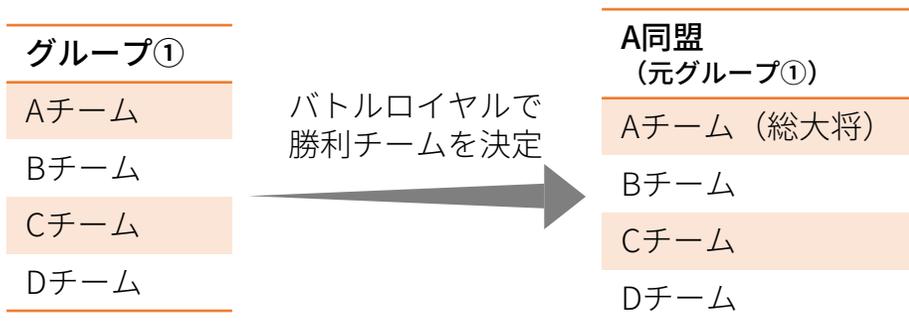


バトルロイヤルでグループから総大将を選出、同盟を結成

- 各ラウンドで「ラウンド終了時の残HP」と「撃破されるまでの時間」からグループ内チームの順位を決め、勝ち点を決定
- 各グループ2ラウンド合計で最も勝ち点の高いチームから当該グループの総大将を選出

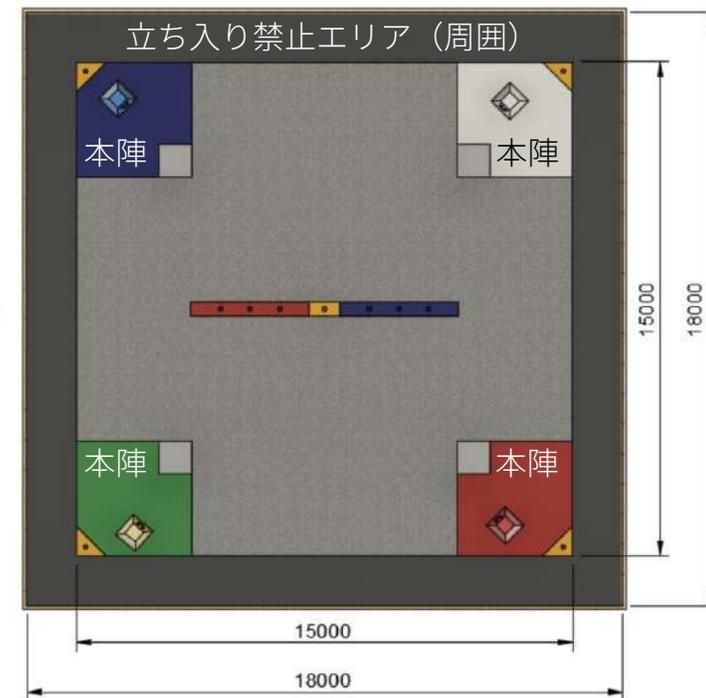
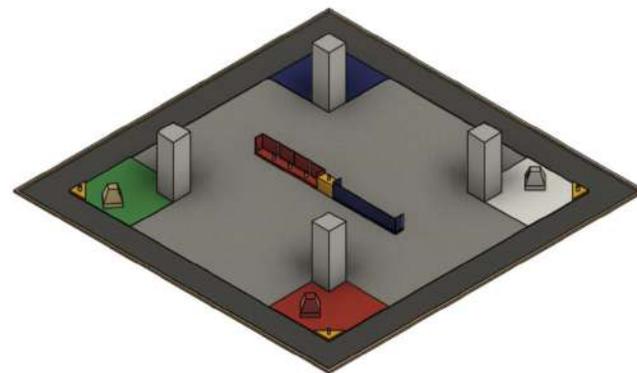
同盟結成

- 各グループで競った4チームが、総大将率いる1つの同盟を組んで決勝トーナメントへ進む



他グループも同様に総大将を選出し同盟を結成

F同盟 (元グループ②)	L同盟 (元グループ③)	M同盟 (元グループ④)
Eチーム	Iチーム	Mチーム (総大将)
Fチーム (総大将)	Jチーム	Nチーム
Gチーム	Kチーム	Oチーム
Hチーム	Lチーム (総大将)	Pチーム



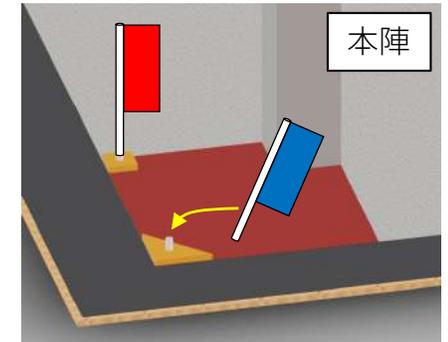
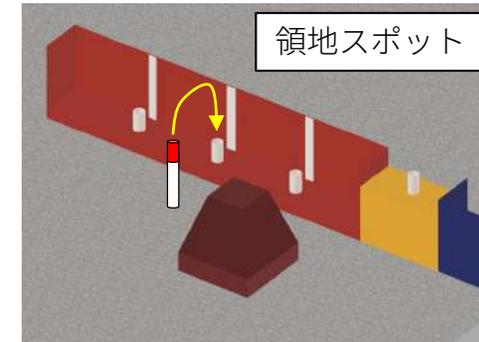
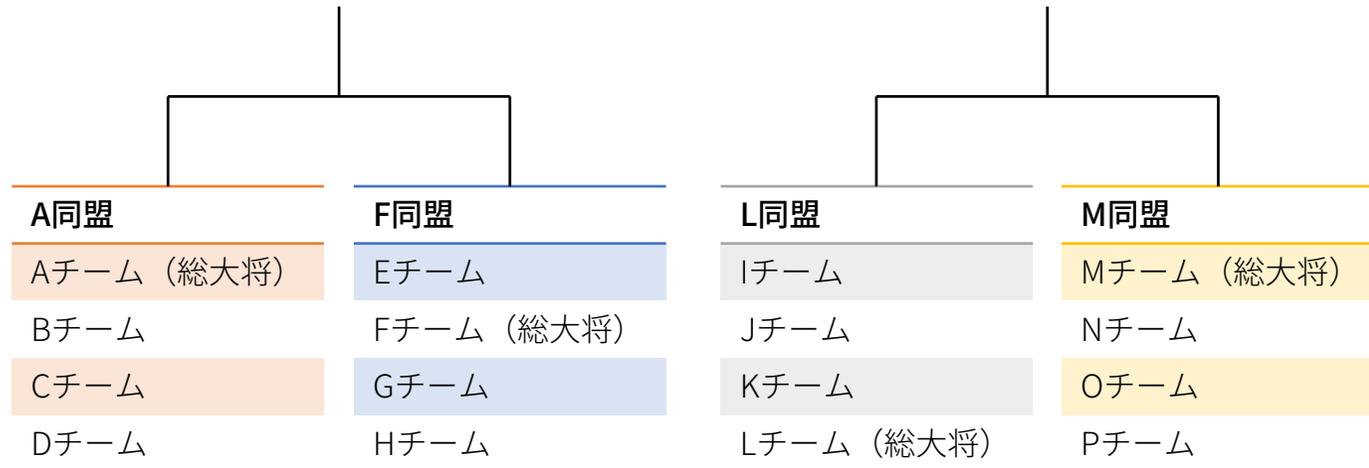
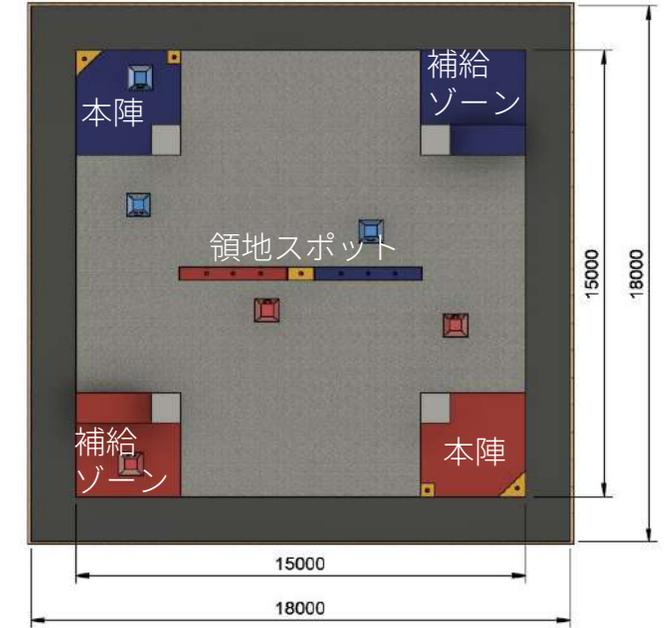


予選で結成した4つの同盟によるトーナメント戦

- 準決勝は2本先取のBO3方式、決勝はBO5形式で、1ラウンドの競技時間は5分
- 各ラウンドでは同盟からロボット3台を出陣させる（将軍ロボット、足軽ロボット×2）
- 同盟に属する全ロボットは最低1ラウンド出場が必須
- 準決勝で敗れた同盟は勝利した同盟の指揮下に入り、さらに大きな同盟として決勝戦へ進む

決勝トーナメントから追加される要素

- 装填ゾーンでフライングディスクの再装填が可能
- 領地スポットに”たいまつ”(棒)を差し込むと追加でフリスビーが貰える
- 中央に共通のスポット（1箇所）があり、獲得するとより多くのフリスビーが貰える
- 将軍ロボットのみが持てる旗を敵本陣に設置するとその時点で勝利





ロボットのルール

- ロボットサイズはスタート時に縦横高さ800mm立方以内（スタート後は縦横高さ1200mm立方まで展開可）
- ロボットの重量は30kg以内
- ロボットを一人称視点で操縦するため、貸出するカメラか任意のカメラを搭載すること
- カメラ映像は貸出するHDMIトランスミッタを搭載し無線送信すること
- ロボットは1度に40枚までフライングディスクを保持できる
- ディスクの当たり判定を自動化するためロボットは貸出するオートレフェリーシステムを搭載すること

オートレフェリーシステムのルール

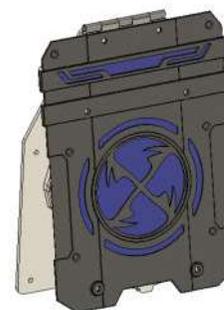
- 鎧はディスクの衝突を判定するものであり、ロボットに4つ搭載する
- HPインジケータはロボットの現在のHPを表示するものであり、1つ搭載する
- 鎧にディスクが当たったと判定されるとHPが1つ減少する

チームのルール

- チームの編成運営を監督する監督を1名以上5名以下で登録すること
- 技術的・運営的アドバイスを行うコーチは5名まで登録できる
- メンバは5人以上20名以下で登録すること
- メンバの中からキャプテンを1名選出すること
- メンバの中からプロジェクトマネージャーを1名選出すること
- メンバの中から安全管理担当者を1名選出すること



鎧



HPインジケータ





CoRE公式Twitterアカウント

https://twitter.com/Scramble_CoRE

主催者公式Webサイト

<https://scramble-robot.org/>

メールアドレス

info@scramble-robot.org

主催者公式Twitterアカウント

https://twitter.com/Scramble_JPN

主催者公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/ScrambleRobocon/>

主催者公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/@scramble-robot>

一般社団法人
次世代ロボットエンジニア支援機構
Next Generation Robotics Engineer Support Organization: Scramble

検索するテキストを入力

お問い合わせ

ホーム お知らせ 公報情報 イベント ロボコンTips 機構について 支援チーム ご支援のお願い 関連リンク

お知らせ

- 2023.06.05 片山チエン株式会社様とスポンサー契約を更新
- 2023.06.02 株式会社PROTEC様とスポンサー契約を更新
- 2023.06.01 オムロン株式会社様とスポンサー契約を締結
- 2023.05.14 株式会社京都製作所様とスポンサー契約を更新
- 2023.04.26 株式会社村田製作所様とスポンサー契約を更新

Scramble Supporters Club 2023

入会申込は

ロボコン出場を思い強化!

チームで大型ロボットを作って
エンタニグの頂点を目指せ!

チームで大型ロボットを作る
ジュニアロボットチーム

CoRE
The Championship of
Robotics Engineer
Scramble 全国エンタニグ選手権